

平成 24 年度 第 1 2 回

# 日南市教育委員会

会議録

平成 25 年 2 月 12 日(火)、午後 3 時 00 分から  
南郷ハートフルセンター・小研修室

- 1 会議の名称 平成 24 年度教育委員会 第 12 回会議（定例）
- 2 会議日時 平成 25 年 2 月 12 日(火)、  
午後 3 時から午後 5 時 20 分まで
- 3 出欠確認  
(1) 出席委員 迫元茂保 藤田義弘 松野蓮香 安野喜宏  
  
欠席委員 八木真紀子  
  
(2) 事務局 教育次長 村角昌宏  
学校教育課長 水元洋一  
学校教育課教育専門対策監 河野好宏  
文化生涯学習課生涯学習係主査 谷口雅彦  
スポーツ推進課スポーツ推進係主任主事 高橋由香子  
学校教育課管理係副主任主事 榎木好恵
- 4 場所 ハートフルセンター・小研修室
- 5 開会  
【迫元委員長】  
「平成 24 年度第 12 回日南市教育委員会・定例会を開会いたします。」
- 6 出席者及び傍聴者確認  
【迫元委員長】  
「出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、八木委員が欠席です。（傍聴者 1 名）」  
【村角教育次長】  
「本日は、生涯学習課長、スポーツ推進課長が公務で欠席のため代理が出席しております。」

## 7 教育委員長活動報告

### (1) 教育委員長活動報告【迫元委員長】

- ① 1月26日、日南市PTA研究大会に参加しました。アトラクションでは東郷小のマーチング、大窪小の剣棒踊りがあり、両校とも日頃の練習の成果を十分に発揮しておりました。また、研究発表では油津小PTA会長の発表がございました。活動の様子がしっかりとまとめてあり、大変参考になる発表でありました。
- ② 1月28日はふれあいコミュニケーションでした。出かける教育委員会としての初めての取組で、吾田小の6年2組の児童との意見交換会を行いました。教育委員会の活動の紹介も取り入れたので、児童に少しでも教育委員会の業務について理解してもらえたのではないかと思います。意見交換会では子どもたちが自分の夢や楽しい学校づくりについて、活発に意見を述べてくれ、十分に所期の目的を達成したのではないかと感じました。子どもたちの新鮮な意見を聞くことができ、大変有意義な時間でした。その成果を今後の教育行政に生かしていきたいと思えます。
- ③ 1月30日は臨時市議会に出席いたしました。防災ラジオの購入についてでした。
- ④ 2月2日、午前中は日南市地域福祉推進大会が開催されました。地域福祉の功労者への表彰が行われ、各分野から81名の方が表彰されました。その後、九州保健福祉大学の井上教授の講演がありました。演題は「縁と援づくりへの挑戦」というもので、つながりの大切さや支え合いの大切さについてお話をされました。また、これからの地域福祉は地域住民のつながりを再構築し、支え合う体制を実現することが大事であり、そのためには地域の強みを見出し、生かすことが大事だともいわれました。
- ⑤ 同日午後から、学校給食展の方に参加いたしました。現在食育について関心が高まっている中で、県内でこのような会を開催しているところが減っている聞いております。そうした中でこのようなイベントを開催されることは意義のあることであると思えます。

以上、活動報告を終わります。

### (2) 教育長活動報告【安野教育長】

多くの会議に出席しておりますが、時間の関係で教育委員会に関するものだけを報告いたします。

- ① 1月16日、日南市校長会がありました。25年度の学校行事、市教育委員会の行事の調整をしました。また、校区外通学についての確認や、むし歯予防対策

委員会の報告、食物アレルギーの対応等の確認をいたしました。

- ② 同日夕方から日南歯科医師会との協議懇談会が行われました。歯科医師会と本年度の関係課題等について協議するもので、特に市教育委員会に関するものでは、むし歯予防対策委員会におけるフッ化物洗口関係の協議がなされました。
- ③ 1月18日、日南学園高校調理科作品発表会に出席しました。卒業生が高校3年間の成果を発表する場で、素晴らしい調理の数々が会場いっぱいに披露されており、食べるのがもったいないくらいの芸術品でした。試食もさせていただきましたが、プロの味といえるような見事な作品で、3年間でこれほどまでに夢に向かって羽ばたいていくのだなと感じられました。
- ④ 同日、坂元棚田景観保護委員会があり、私はあいさつのみの出席でしたが、棚田の景観保護に関して本年度中にまとめ新たに国に申請して行くということを知っております。
- ⑤ 1月20日、市の自主文化振興事業のひとつであります、森山良子コンサートが開催されました。センターが満席になるほどの大盛況でした。
- ⑥ 1月21日、日南女性の集い・日南市の男女共同参画講演会・吾田地区の生涯学習講演会が同時開催されました。活力ある村づくりを推進されています西米良の黒木村長による講演がありました。色々な西米良ならではの取組みをされていて、本市でも参考になるものが多くあったと思います。
- ⑦ 1月22日は新春子どもの声を聞く会があり、市内小中27名が自分の考えを堂々と述べておりました。内容、声量、速さ、間の取り方、聴衆に届くような熱意等、年々レベルアップしているように感じました。最優秀賞は本来小中学校1名ずつですが、今年は中学校の部では3名もでるほどの素晴らしい発表でありました。
- ⑧ 1月24日榎原中学校立志式に祝辞を述べに行きました。2年生が対象ですが、わずか3名でした。しかし、全校生徒、保護者や地域の方がお祝いに駆けつけており、厳粛に式典が行われました。
- ⑨ 1月25日、第59回となる文化財防火デー消火訓練が行われました。市消防本部の皆さんや、地域の方々約60名が参加され、地域ぐるみで地域の文化財を保護するという想いを新たにさせていただいたと思います。
- ⑩ 1月26日はPTA研究大会でした。「未来をつくる日南っ子へ今私達ができること」をテーマに関係者およそ800名が参加されておりました。保護者と教師が一体になった教育の振興を感じることができました。また、教育行政としてもバックで支えていかなければならないと強く感じた次第です。
- ⑪ 1月26日27日、県女子駅伝大会が開催されました。小林市をはじめ、22チーム148名の参加がありました。もっと盛り上げていけるよう市民をあげて応援等していただけるといいなと思います。しかしボランティアの大勢の皆様の

協力をいただいております、感謝したいと思います。

- ⑬ 1月28日は、教育委員と吾田小児童との意見交換会です。やはり顔の見える教育委員会というのが大事ですね。夢を与えるような教育委員会、また、開かれた教育委員会というものを目指している以上、今後も場所と時間の案内は必要だと思います。事務局よろしく申し上げます。
- ⑭ 1月29日は宮崎県婦人大会が開催されました。来賓に宮崎県知事、県議会議長や日南市長を迎えて、県内の婦人団体およそ800名の方が参加されました。日南で初めての県婦人大会と言うことであり、これからは地方で開催することで地域の活性化を図るとのことです。
- ⑮ 2月2日、日南市学校給食展が行われました。保護者や地域の方々に学校給食について、子どもたちがどんなものを食べているのか、地産地消や食の大切さについて知っていただくよい機会であります。学校給食展と言うのは県内でも実施しているところは少ないようですが、今後も続けていきたいと思っています。
- ⑯ 2月3日は第60回鶴戸山顕彰剣道大会がありました。県内から小中高校生が多く参加しておりましたが、日南市内からの参加者が少ないようです。中学校は武道必修ではありますが、剣道人口をどうやって増やすかが今後の課題ではないでしょうか。
- ⑰ 同日、鶴戸中の立志式でした。5名の対象者が将来の夢や希望を弁論方式で発表しておりました。弁論を聞きながら生徒たちの将来への大志を感じ、頼もしく感じました。
- ⑱ 引き続き、鶴戸地区の青少年の声を聴き励ます会に参加いたしました。鶴戸地区の小中高校生6人が、日頃考えていることや夢、思い等を堂々と力強く発表しておりました。
- ⑲ 2月4日伝統的建造物地区保存審議会が開催されました。あいさつのみの出席でしたが、この会も本年度でまとめて国に申請して行くと聞いております。
- ⑳ 同日、プロサッカーJ2の横浜FC 歓迎式に参加いたしました。カズこと三浦和義選手らの元気な顔を拝見することができました。今年こそはJ1への昇格を期待したいです。
- ㉑ 2月8日、県教育機関連絡協議会の研究発表会が佐土原で行われました。日南市の場合は教育研究所を持っておりますが、市町村が持つ教育研究所や教育研修センターの1年間の研究を発表する大会です。日南市からは教頭2名教諭10名で取り組んでおり「児童生徒の豊かな学力を高める指導方法の工夫改善」について発表をしていただきました。児童生徒の学力向上と教師の授業力向上を目指して、本市におけるスタンダードな授業モデルを構築したものであり、参加者や指導講評を頂いた先生から高い評価を受けました。今後どのように市内の各学校へ

浸透させていくか、1人1人の教師がどう意識し実践していくかにかかっていると  
思います。本当に価値のある研究でありました。

以上、活動報告を終わります。

## 8 前回の議事録承認 承認

## 9 議題について

### 議題1 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(水元課長)	まず始めに、前回、評価を効果に修正するとの話でしたが、まだ修正してありません。申し訳ありませんが御了承ください。 (1) ①～⑤ について説明 ⑤の目標値ですが、400となっていますが、事務事業進行管理表では300ですので300に訂正したいと思います。
(教育長)	今年の実績は550ですが、目標は300でいいのですか。
(水元課長)	これは23年度の目標であり、会場によって目標値も変わっていきますのでいいと思います。
(藤田委員)	目標値が変わるといのはどういうことでしょうか
(水元課長)	会場が変わっていきますので、場所によって目標人数が変わりますし、前年度よりは上の目標を設置していきたいということです。
(藤田委員)	わかりました。 ①幼小中の中で、昨年でしたか、幼稚園と小中学校との連携について教育委員会としても考えていかなければいけないという話があったと思うのですが、23年度の改善策に入れるべきではないでしょうか。
(委員長)	改善策に入れるということですね。 他にはありませんか。
(教育長)	内容ではありませんが、自己評価内容の文章で文字が1字とんでいるところが多々ありますが、最後には調整をお願いします
(水元課長)	(2) ①～⑩ (3) ①② について説明
(委員長)	ちょっと質問ですが、⑤人材バンクというのと、③すぐれもん講座の講師というのは同じですか。

(谷口主査)	同じです。人材バンクの人材を活用した講座がすぐれもん講座です。
(水元課長)	(4) ①～⑥について説明
(松野委員)	④の自己評価内容に反省点が記されているので、そこを改善策として記載するべきではないですか。記されている改善策とは少し違うような感じがしますが。
(教育長)	この反省点に対する改善点の記入が必要ということですね。
(教育次長)	わかりました。指導者の育成やマナーの向上等、文言を整理します。
(教育長)	内容ではありませんが、今度は句読点が抜けています。また、文頭がそろっていないなど見づらくなっていると思います。
(委員長)	その調整をお願いします。
(教育次長)	了解しました
(水元課長)	(5) ①～④について説明
(藤田委員)	この項目についてはかなり厳しい評価をされているなど感じたのですが、たとえば③についてはどのように評価されたのですか。
(谷口主査)	堀川運河周辺の活用については、油津の赤レンガ館の活用を含め、商工観光課との連携が必要だと考えているところです。さらに3月末、国の補助を受けて油津地区の歴史町歩きマップを作成する予定です。今現在飢肥の方は観光ボランティア等ふくめて観光客のおもてなしができていますが、今後さらにマップ等を活用して油津の方にも観光客を誘致して行けるよう努力していかなければならないと感じているところです。
(委員長)	それは24年度、今年度の話なので23年度の改善案にいれるということでしょうか
(藤田委員)	ただ、私は自分の事業に対してかなり厳しく頑張っておられるなど感じたものですから。
(松野委員)	話が少しそれますが、まちづくりのマップを作った場合、飢肥と油津はちょっと距離がありますけれど、両方行きたいという方への対応はどうなりますか。他の市町村では100円バスのようなものがあると思うのですが。
(教育次長)	そのへんが観光課との連携ですね。おっしゃられるとおり、今後考えていかなければならない部分です。
(水元課長)	(6) ①② (7) ①②について説明
(藤田委員)	(7) ①の公平性の評価が1なのはなぜですか。

(谷口主査)	①図書館の環境整備につきましては、現在4館かかえていますが非常に老朽化している館もあります。どこでも借りられてどこでも返せるシステムの充実や、移動図書館「たいよう号」でのサービスの充実も行っているところですが、サービスの充実がさらに必要であると考えており、公平性について1という評価をしたところです。
(藤田委員)	1というほどではないのでは。たいよう号も回っていることですし。
(水元課長)	評価を2に引き上げさせて頂いてよろしいでしょうか。 (了承)
(教育次長)	(6)②に目標値と実績値のところに小村塾の塾生数を入れたいと思いますがいかがでしょうか。 (了承)
(教育長)	総合評価について 2行目の情報開示についての部分ですが、議会にはこれまでも開示していますので、市民へも出していくという意味でしょうか。
(水元課長)	情報開示を検討し、という文言が前年度入っていました。今回の情報開示は市民への開示を考えての表現です。
(教育長)	この点検評価をホームページ等で市民へ開示して行くということで、昨年と比べ前進したということですね。
(水元課長)	ホームページへの公開等考えて文言も調整して行きます

## 議題2 平成25年度日南市教育基本方針（案）について

(対策監)	5ページから10ページの修正点について説明
(教育長)	P7エ ブックピア日南を変更しなければいけないですね。また、他の場でも順次変更していかなければならないですね。
(松野委員)	やっと覚えたところでしたのに。
(教育長)	市民に定着していませんからね。
(委員長)	わかりやすくなりましたね。
(松野委員)	教育支援センターと教育相談センターとふたつあるのですか
(教育次長)	わかりにくいですね。「教育支援センター」が星倉の教育相談所あとにあるもので、「親と子の教育相談センター」は本庁3階です。
(委員長)	わかりにくいので文言の整理をお願いします。
(藤田委員)	いじめ110番というのは市として行っているのですよね。
(対策監)	そうです。午前中は教育支援センター、午後は学校教育課の方で電話相談を受けております。

(松野委員)	教職員を教員に変更ということですが、あちこちに教職員という言葉が出て来ます。
(対策監)	すみません、整理させてください。
(対策監)	11ページから16ページについて説明
(委員長)	新たにP14に(3)子ども支援活動の充実を入れたということですが、P13ウ・エと同じではないですか。これは残しますか？
(谷口主査)	P13のウとエを削除させてください。P14(3)を加える理由ですが、文化生涯学習課では平成19年から放課後子供教室を、平成21年度から学校地域支援訪問を行っております。この2つを小項目ではなく大きな一つの事業とすることで、我々のこの事業の充実に関する意気込みを表したいと思っております。
(委員長)	P17ウですが、「多様化する要求に配慮し」の要求はニーズといいかえてはどうでしょうか。要求と言うとちょっとイメージが良くないかなと思いますが。
	(了承)
(対策監)	17ページから19ページについて説明
(藤田委員)	P19(3)ア「人材の発掘などを積極的に活用し」という文は少しおかしいのではないのでしょうか。発掘を活用と言うのは。
(教育次長)	体育協会加盟団体の優秀な人たちを積極的に活用しますという意味だと思しますので、発掘は削除でいいと思います。
(委員長)	「優秀な人材を積極的に活用し」ということですね。
(対策監)	20・21ページ 学校教育課行事予定表について説明
(教育長)	総務関係の4月、定例教育委員会会議というのは教育委員関係の4月の定例教育委員会(毎月)と同じではないですか。
(教育次長)	そうです。同じになるよう、総務関係の会議を削除し(毎月)を付け加えます。
(委員長)	学校教育関係の8月と3月に南那珂地区教育委員会連合会総会及び研修会がありますが、例年2回あるのですか。
(教育長)	8月は総会であって、もう一回研修会をしなくてはいけないのではないですか。
(教育次長)	確認いたします。
(藤田委員)	別件ですが、むし歯予防対策検討委員会は正式名称に変更します。市町村の教育委員の研修会というのが九州各県持ち回りで行われ

	<p>ていると思うのですが、先日も少し発言いたしました、25年度は鹿児島県であるそうです。方法は色々あると思いますが公用車を使いなり工夫をすれば参加できるのではと思います。大変意義のある研修だと思うのでぜひ参加したいと思うのですが。</p>
(教育長)	<p>5月の九州地区市町村教育委員研修大会のことですね。予算要求はしていませんか。</p>
(水元課長)	<p>おっしゃるとおり、2年に1回研修と総会がありますので、委員長1名分だけは予算を組んであります。1泊2日分です。今回は指宿市のようなようです。</p>
(藤田委員)	<p>全く計上されていないのかと思っておりました、失礼しました。</p>
(対策監)	<p>22～25ページ文化生涯学習課行事予定について説明</p>
(委員長)	<p>P24 3月実行員会となっておりますが委員会ですね。</p>
(対策監)	<p>26ページ スポーツ推進課行事予定について説明</p>
(教育次長)	<p>種別の欄ですが、他と合わせて「行事・スポーツ推進委員関係」としたほうがわかりやすいかと思います。</p>
(委員長)	<p>それでは、以上で協議を終わりたいと思います。今後市民へ公開していく手順を取ることにしますので、よろしくをお願いします。</p>

## その他（１） 南那珂教育委員会連合会の開催について

(水元課長)	<p>南那珂教育委員会連合会の開催をいたします。3月2日午後1時から1時半まで意見交換会、1時半からを研修会にしたいと思います。後日案内をさせていただきます。終了後、例年通り教育委員会も開催いたしますので、必ず出席をお願いいたします。講師は岡本生涯学習課長、約1時間の予定です。</p>
--------	---

## その他（２） 学校活性化推進委員会からの答申について

(対策監)	<p>資料3について説明</p>
(委員長)	<p>あくまでも単独校として存続できない場合の基準ですよね。</p>
(対策監)	<p>今、該当地区に説明に回っております。飫肥、榎原、細田、酒谷地区です。</p>

### その他（３） 「ふれあいコミュニケーション」の反省点について

(委員長)	1月28日に実施いたしました、吾田小児童とのふれあいコミュニケーションです。それぞれの委員から反省や感想をお願いします。
(藤田委員)	こちらが想像していたよりも、子どもたちが的確に問題を見つめていて、さらに自分たちで解決策を探っていることに驚きました。認識不足でした。素晴らしいと思いました。
(松野委員)	やはり、選ばれたクラスだったのかなと思います。先生と子どもたちの信頼関係が強く感じられました。ああいうクラスが本当ならもっとできるはずなのに、できていないのはなぜなのかなと疑問に思いました。また対象が中学校や高校となると、今回とはまた形が変わって、どういうふうにやっていくか難しくなるのかなと思いました。
(教育長)	非常にすばらしかったと思います。ただ気がかりだったのは、最初のふれあいの時間の歌ですね。1曲目は日南市歌でしたが、2曲目が全く知らない歌でした。前もって相談等してもらえるとよかったかなと思います。一緒に歌えるようなものの方が親近感を出せると思うので、また次回があったらそこは改善したいと思いました。
(松野委員)	今回は八木委員が対象クラスに相談して、あの曲に決定し練習してもらっちゃいました。八木委員で止めずに他の委員にも歌詞カードやCDを渡すと良かったのかなと思います。
(委員長)	子どもたちがしっかり自分の意見を話し、相手の意見も聞いていた。その上で、よりよい考えにまとめ上げていく。感心致しました。この会をどういう風に行政に生かしていけるかと考えたのですが、先生との人間関係があんなにいいのはどうしてかと思った時に、例えばこの日南市の教員の研修等で会を参観してもらおうとか、提案授業のような形で広げていけないかな、と考えました。運営面では、今後も前もってテーマを決めて十分な打ち合わせが必要だなと感じたのがひとつ、それから対象によってはふれあい活動は必要かというところも検討が必要かなと思いました。歌にしても、お互いに大丈夫というものを選んで、こちらも練習等準備をしなければいけないと思います。教育委員としての準備を十分にしなければ成果はあがらないだろうと思いました。

## 10 その他

(1) 3月行事予定について

別紙参照

(2) 第13回 教育委員会会議（臨時）

① 日時 平成25年3月2日(土)、午後2時半から

② 場所 宮崎県総合庁舎

(3) 第14回 教育委員会会議（定例）

① 日時 3月26日(火) 午後6時 夜間開催

② 場所 北郷農村センター（予定）

## 11 閉会

会議録を調整し署名する。

平成25年 月 日

教育委員長

---

教育委員長職務代理者

---

教育委員

---

教育委員

---

教育長

---